

# 岩手県立平舘高等学校PTA

学校創立70周年 ～地域とともに成長するPTA活動～

所在地：岩手県八幡平市／全校生徒数：217名

|              |   |
|--------------|---|
| <b>学校の特徴</b> | 昭和23年創立、平成30年に70周年を迎える。普通科と家政科学科の2学科からなる。八幡平市唯一の高校であり、八幡平市内の中学校出身者が9割を超える、地域の学校である。「開拓者精神」の校訓のもと、小規模校ではあるが地域に根ざして活発に活動をしている。旧西根町の花であり本校とも縁が深いムラサキの植栽から紫根染めまで取り組み、地域の財産をつないでいく活動も行っている。この活動の中心となっている家庭クラブは、「再興！ハルさんの「知恵と技」～我らの紫根染をつなぐ実践～」と題した研究発表で、東北代表として平成30年度の全国大会に出場。また、相撲部、スキー部は全国大会常連校である。 |
| <b>地域の特徴</b> | 八幡平市は岩手県の北西部に位置し、秋田県、青森県と接している。十和田八幡平国立公園を有し、岩手山・八幡平・安比高原の裾野に広がる、緑豊かな地域。国内最初の地熱発電所もあり、温泉資源が地域の産業を支えている。本校の所在する西根地区は、古くからムラサキの自生地であり、本校の校章にもその花があしらわれ、校歌にも歌われている。  |
| <b>活動内容</b>  | 地区ごとに選出した役員が中心となり、地域の意見を幅広く反映しながら各種活動を行っている。役員以外の有志も活動に参加しており、強制ではなく意思を尊重した活動が多い。<br>・PTA総会 ・各地区PTA ・学年PTA ・常任理事会 ・体育祭ひつつみ、給水所 ・文化祭青空市場、餅振る舞い ・花壇整備活動 ・登校時一声運動 ・母親交流会<br>・研修旅行 ・会報誌発行 ・平高「親のあり方十か条」、「スマホ・ケータイ・インターネット親子のルール宣言」  |

## 特徴的な活動

### ひつつみレンジャー

平成28年度発足。前身は体育祭における豚汁提供。体育祭でのひつつみ(すいとん)の振る舞いを発端としているが、その活動は体育祭のみにとどまらない。

主な活動実績

- H28 体育祭、課外、検定、野球部練習試合(台風被害を受けた久慈東高校との交流)
- H29 体育祭、東北高等学校相撲選抜大会(地元開催・創立70周年記念大会)
- H30 体育祭、創立70周年記念式典



ひつつみレンジャー活動は、保護者にとっては子ども達の学校生活を見られる場ともなっている。こだわりのひつつみは生徒達に好評で、楽しみにしている生徒も多い

### 紫薫祭(文化祭)出店・もち振る舞い

生徒達と一丸となって文化祭を盛り上げるべく、PTAによる青空市場・つきたて餅の振る舞いを開催している。場所は校門を入ってすぐの屋外。運営はPTA役員および母親委員が中心で、PTAのOBも参加している。

青空市場販売内容

- ・おこわ・がんづきなど(PTA役員手作り)
- ・いか焼き・焼きとうもろこしなど
- ・野菜(PTA会員有志からの提供)
- ・家庭用品等(PTA会員有志からの提供)

青空市場の収益金は生徒会に寄付している。また、県内で自然災害が起きた年には、全額被害地域への義援金とした。



### 花壇整備活動

平舘地区の「花いっぱい運動」との連携。コミュニティセンターから花苗、市内企業から土の提供を受け、保護者・職員共働で校地内の花壇に花を植えている。



### 母親交流会

母親のみならず姉、祖母等も対象として交流会を実施している。会食の他、PTA会員が講師を務め、マッサージ講習等、その年ならではの活動を行っている。



### 登校時一声運動

6月、10月の衣替えの日に実施。校門付近でのあいさつ運動。

### 平高「親のあり方十か条」

親子の絆を深めるための宣言として、平成25年度制定。平成26年度からPTA入会式および総会にて宣言している。「スマホ・ケータイ・インターネット 親子のルール宣言」昨今の情報機器利用の状況を受け、生徒会との連名で平成29年度に制定。平成30年度PTA入会式、総会にて宣言。

## 成果

- ・相撲大会での活動により、東北地方の方々へもPTA活動の一つの形のアピールができた。
- ・ひつつみのおいしさに誘われて、活動に参加する保護者が増加。平成30年度は全保護者にひつつみレンジャー募集の案内を出したら、役員以外からも広く協力が得られ、過去最多の参加者数となった。

## 課題

- ・活動は認知されているが、さらに輪が広がっていくと良い。
- ・生徒数、PTA会員数の減少が避けられない中ではあるが、地域唯一の高校である学校を盛り上げる活動を継続していくため「参加しなくなるPTA活動」の形をさらに磨いていく必要がある。